

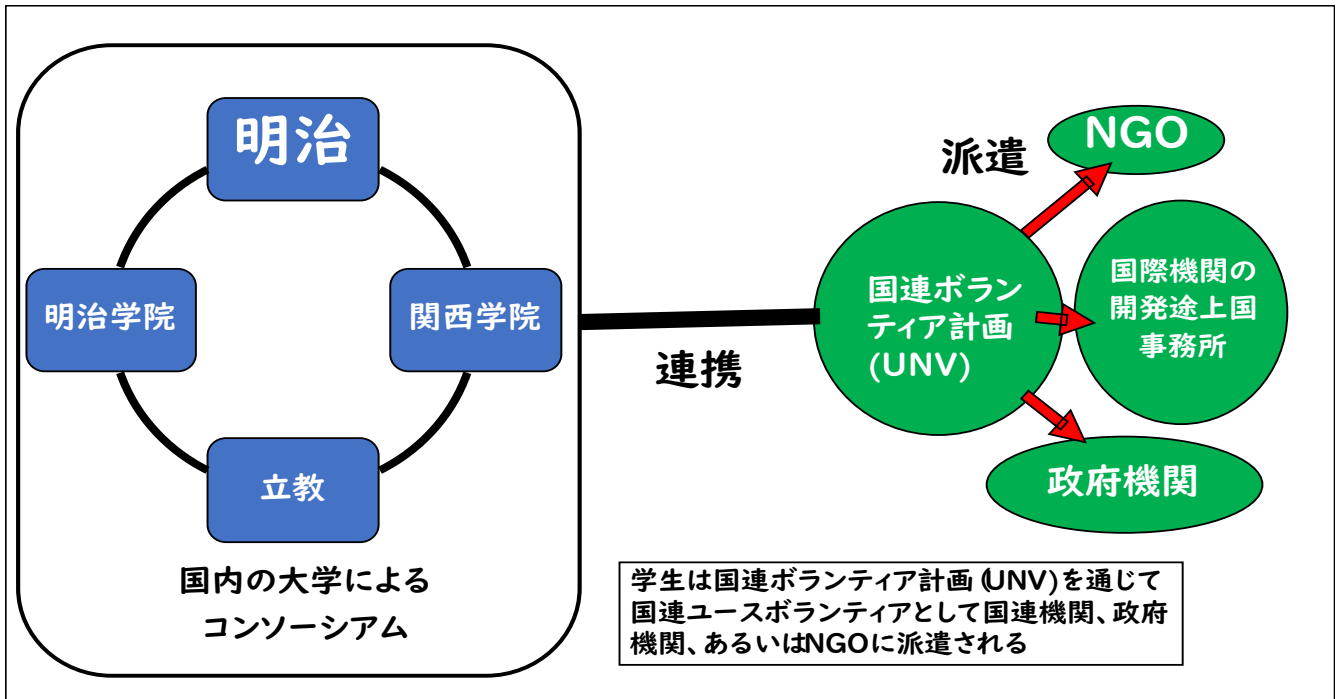
明治大学 国際教育センター主催 2024 年度国連ユースボランティア・プログラム募集要項



2023 年 9 月 27 日

【1. プログラムの概要】

- ・国連ユースボランティアプログラムは、国際機関の一つである「国連ボランティア計画 (UNV: United Nations Volunteers)」を通じて、開発途上国にある国際機関の事務所、政府機関あるいは NGO に 2024 年 9 月下旬から 5 か月間ボランティアとして学生を派遣するプログラムです。
- ・派遣された学生は、派遣先の組織のオフィスを拠点に、様々な背景を持つプロフェッショナル達とともに、広報やプロジェクトの実施支援等、様々な活動に関わっています (活動の内容は派遣機関により異なります)。
- ・本プログラムは、グローバル人材育成科目として実施されるもので、プログラム終了時は「長期海外実習」(8 単位)「海外実習課題研究」(4 単位)が付与されます。
- ・現地での活動に必要な経費 (往復航空運賃、住居費、現地での生活費、国連の健康保険加入料、その他予防接種代等) は、明治大学から UNV を通じて派遣学生に支給されます (一部自己負担あり。別項参照)。
- ・本プログラムは日本国内の 4 つの大学 (本学、関西学院大学、明治学院大学そして立教大学) がコンソーシアムを形成し、UNV と連携し、関係者間の協力のもと実施されています。



①どのような活動をするのか?

派遣先の組織のオフィスを拠点に、様々な背景を持つプロフェッショナル達とともに、広報 (Web サイト構築 / 運営、広報媒体作成、動画・画像編集) やプロジェクトの実施支援 (社会調査アシスタント、プロジェクト運営アシスタント) 等、様々な活動を展開します (派遣機関によって活動の内容は変わります)。

②どのような能力の習得を目指すプログラムか？

持続可能な世界を創ることを目的とする国連等の活動に、プロフェッショナル達とともにボランティアとして従事することを通じて、①国際社会や異文化についての理解力②外国語でのコミュニケーション力③主体的に課題を解決する力など、グローバル人材に必要な素養を習得することが期待されています。

③どのような人におすすめか？

国際機関の取り組みに関心のある方、将来、グローバルな環境で活動をするに関心のある方に特におすすめです。

③どこに派遣されるのか？

国連ボランティア計画 (UNV) は、2024 年度に国連等の諸機関で国連ユースボランティアを求めている組織の情報 (派遣国や活動内容) をポストごとに業務指示書 (Description of Assignment) という文書に取りまとめ、2024 年 4 月上旬に公開する予定です。

この業務指示書の情報をもとに、コンソーシアムを形成する他の大学 (関西学院大学、明治学院大学、立教大学) と UNV が協議し、UNV が明治大学の学生が応募できる機関 (明治大学専用枠、といいます) を決定します (つまり、明治大学の候補者が応募できる機関と国は 2024 年 4 月にわかります)。

<参考情報>これまでに派遣された学生の「業務指示書」は、HP 上で公開されています (https://www.meiji.ac.jp/cip/chouki_kaigaijishu/index.html) の「【参考】2023 年度派遣地及び Description of Assignment (DOA)」を参照のこと。

④派遣国の言語 (現地語) でのコミュニケーションができなくとも活動可能か？

可能です。業務は英語環境で行うことが原則とされています。ただし、派遣国の公用語 (簡単な日常会話程度) が話せるとより望ましいです (業務が円滑に行えます)。

⑤参加に必要な費用は？

航空運賃や現地での生活費等は支給されます。

・ 明治大学から国連ボランティア計画 (UNV) を通じて本人に支給	・往復渡航費 ・住居費 ・現地生活費 (現地の人と同等程度の生活を営むに足りる金額が支給されます。国ごとに定めた生活費が毎月現地銀行口座に入金されます。) ・国連健康保険 ・準備金 (滞在ビザ申請料及び荷物配送費等の一部)
・ 自己負担	・渡航前国内研修費 (3 万 5 千円程度) ※2024 年8月に関西学院大学で 2 回にわたる集合研修。 ・渡航前国内研修等の交通費・宿泊費・教材費 (関東会場及び関西会場で実施予定) ・明治大学が指定する海外旅行保険 ・派遣先国渡航にあたり、外務省海外安全情報により必須及び必須に準じると指定される予防接種の費用 (予防接種の種類は派遣される国により異なります。) ・その他、出入国のために必要な費用

【2.履修条件】

「長期海外実習」の学習効果を高めるため、派遣前に実務研修を行う「海外実習課題研究(国連ユースボランティア・プログラム)」を同時に履修しなければなりません。本プログラムは休学での参加は認めません。

成績の付与は2024年秋学期分として行われます。2024年秋学期にはこの他の科目の履修はできませんので、2024年度に卒業を考えている場合は、自らの単位修得状況と2024年度中の履修計画を確認し、卒業の可能性を事前確認の上で申し込んでください。なお、参加確定後の派遣辞退は認められません。


①関連科目は？(取得できる単位数は？)

グローバル人材育成科目 「長期海外実習」(8単位) 「海外実習課題研究」(4単位)

②単位の付与について

単位の付与(学部卒業要件に含めて履修又は卒業要件外科目として履修)については、各所属学部事務室に確認してください。

【過去の参加者の声】

●原山さん 政治経済学部(2020年卒) 大手自動車メーカー勤務 : 

私は、事務所のスタッフと共に『GEOLOGICAL HERITAGE IN THE ARAB REGION』という出版物の作成に取り組みました。アラブ地域の気候や自然災害を分析し、論文執筆を行っていましたが、ボランティアとして任される活動としては、かなり専門性の高い内容でした。5ヶ月という期間はとても短く、活動で大きな成果を残せた訳ではありませんでしたが、国連に対する理解を深め、日本では決して出会うことができなかったであろう様々な人に出会い、将来のキャリアに対する大きなモチベーションを持たたという意味で、挑戦してよかったと感じています。

私の会社は、グローバルな製品を扱っており、職場にも多くの外国人がいます。私の上司も外国人のため、外国語で仕事をする毎日です。グローバルな環境の中で働くマインドセットやコミュニケーションの方法は、国連ユースボランティアを通じて学んだことであり、日々仕事の中で活かされています。

●浅松さん 国際日本学部(2016年度参加) : 

応募を考えている学生のみなさんは、家族から、周りの友人から、面接官から「どうして国連ユースボランティアに応募するの？」と聞かれることでしょう。その質問にはっきり理由を答えられる方もいらっしゃるかもしれませんが、言葉が詰まってしまう方もいらっしゃると思います。学生時代の私はどうだったかというと、なにをしたいかと聞かれて、いつも言葉が詰まってしまうような人間でした。

私が海外に行きたいなと思い始めたのは大学1年の秋くらいから。当時から海外のアートや教育の分野に興味があり、留学を希望していました。しかし「明確な目的がないなら、お金と時間が無駄になるわよ」という留学アドバイザーの方の一言をきっかけにその時は留学を諦めてしまいました。それからしばらくは、やってみたいと思ったことをためらってしまう日々がつづきました。その時期はとても辛くて、自分の情熱を行動にうつせないと心がどんどん枯れていくということを知りました。留学の夢を一旦諦めた私が、大学4年の春、改めて人生の岐路にたち「自分のしたいこと、ワクワクすることをやろう」と飛び込んだのが国連ユースボランティアでした。応募時の「へえ!おもしろそう」という小さなワクワクに導かれ、アフリカの大地や国連職員の仲間たちとの出会い、そして自分の人生を切り開くことができました。

皆さんへのメッセージはただ一つ。その先に何があるか結果が見えなくても、理由がうまく言葉にできなくても「自分の情熱を信じてほしい」ということ。活動を通して出会った人たちが私に灯してくれた情熱の炎を、今度は私から皆さんへエールの言葉として送りたいと思います。

【3. 2024 年度派遣の応募手続き】

募集期間は、2023年11月22日(水)～12月1日(金)17:00 厳守です。

- 応募の準備をより効果的に進めるために、2024 年度派遣分については、募集スケジュール、応募要件を変更しています。
- 本プログラム参加については事前に保護者とよく相談し、同意を得てから応募してください。また、学内推薦が決定した後、辞退は認められません。プログラムの条件や詳細をよく確認の上、応募をお願いします。

①派遣期間は？

2024年9月末頃 ～ 2025年2月末頃（約5か月間）

詳細な期間は派遣が確定した学生と派遣先が調整し、明治大学が確認ののち、最終決定します。

②応募要件は？

1. 2024 年 9 月 1 日時点で20歳以上26歳未満の学部2年生～4 年生であること。(応募は1年生から可能)
2. 開発途上国の厳しい異文化環境において生活する上で心身ともに健康上の問題がないこと及び困難な状況に対応できる能力を有すること。
3. 派遣終了後(大学卒業後も含む)も、国連ユースボランティア事業及び本学の外国留学に関する広報活動、各種調査等への協力に同意ができること。
4. 一定レベル(TOEFL iBT (R) 72 点、TOEIC L&R (R) 785 点、IELTS 5.5 点相当)以上の語学能力を満たすこと。
5. 基本的な PC スキル (Word/Excel/PowerPoint) を有すること。
6. 本プログラムの募集・選考及び実施に係る全てのスケジュールに参加ができること。
(渡航前国内研修及び事前・事後学習に欠席をした場合、プログラムの参加を認めないことがあります。)
7. 開発途上国へ2週間以上の渡航経験(留学・在住)を持つことが望ましい。

③どのように選考が行われるか？

次の3段階で行われ、最終的に一名に絞り込まれます。

学内選考内容、可否結果に関する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。

段階	対象	選考方法	結果通知方法
第1段階	全員	学内の書類選考	メール
第2段階	書類選考 通過者	学内の面接選考 (面接選考通過者について、明治大学から UNV に候補者として推薦します。これは派遣を確約するものではありません。)	メール
第3段階 **	面接選考 通過者	UNV から明治大学生の「専用枠」として指定された国連関連諸機関*による選考(書類選考およびインタビュー) * (国連機関、政府機関あるいは NGO)	UNV から候補者にメール連絡

【留意点**】仮に、第3段階において、国連諸機関が選考の結果、「明治大学候補者に該当者なし」と判断した場合は、UNV が新たに別の国連諸機関を「予備専用枠」として指定します。候補者が希望する場合はその機関に応募し直し、選考を受けることは可能です。

④応募方法は？

応募フォームに入力後、次項「⑤提出書類」のファイルをアップロードしてください。 ←フォーム

- ・募集期間内に、1) 応募フォーム (<https://forms.office.com/r/zECBz4JDSN>) に必要事項を入力。
- ・そして2) 「応募フォーム」内にある指定 URL サイトへ「提出書類」のファイルを全てアップロードする。

<募集期間> **2023年11月22日(水)～12月1日(金) 17:00 厳守**

如何なる理由でも応募期限を過ぎての書類受付はいたしません。

⑤必要な書類は？

提出書類	備考
<input type="checkbox"/> 【長期海外実習】国連ユースボランティア・プログラム 学内申請書	必要事項をすべて記入し、3 か月以内に撮影された証明写真データ(カラー、4cm x 3cm)を貼付すること。
<input type="checkbox"/> 【長期海外実習】エッセイ	それぞれの問いに対し、指定された字数以内で記述をすること。
<input type="checkbox"/> 成績通知表(2023 年度春学期の成績まで反映されたもの)	Oh-o!Meiji よりダウンロードしたもの。 ※提出時に PDF の開封パスワードを解除
<input type="checkbox"/> 英語能力試験のスコアコピー	応募資格に記載のスコアを有していること。 (スコア提出期限は 12 月 19 日(火) 17:00)
<input type="checkbox"/> 【長期海外実習】国連ユースボランティア・プログラム 参加申込誓約書(提出用)	本人及び保証人による署名・捺印がされていること。

留意事項

■ <UNV への参加決定後>

- ・参加者が作成した英文履歴書及び選考時提出書類等を、本学に共有いただくとともに、次年度の学内での募集等のために本学が活用することに了承いただきます。
- ・応募にあたって提出していただいた個人情報、当プログラムの実施及びこれらに付随する事項を行うために利用し、また、当プログラムを実施する関係諸機関に対して、提出していただいた個人情報を提供することがあります。
- ・国際教育センター主催の各種オリエンテーション等での発表や明治大学が発行する出版物等へ留学体験記の寄稿にご協力いただきます。

■ 現地派遣の条件について

外務省海外安全情報の危険情報レベルにおいて、派遣国の危険レベルが「レベル1」以下でなければ、原則、派遣は行いません。また、同レベルが「レベル2」に上がった場合には、原則、帰国となります。

応募から帰国までのスケジュール(予定)	
2023年9月28日(木)	募集要項公開
9月29日(金)	募集説明会実施
11月22日(水)～ 12月1日(金)	学内申請書類提出期間【締切:12月1日(金)】17:00 ※英語能力試験のスコアコピー【締切:12月19日(火)】 17:00
12月13日(水)	学内書類選考 通過者発表
12月18日(月)～ 12月22日(金)	面接(原則和泉キャンパスで対面で実施。詳細は該当者のみに通知)
2024年1月11日(木)	面接結果通知・派遣候補者発表
2月	担当教員・過去の参加者との面談
4月上旬	2024年度派遣先・業務指示書(DOA)公開
4月中旬	英文履歴書(CV)、参加動機等提出締切日 詳細は候補者に別途通知する。
4月下旬	UNV ロスター・システム(My Profile)登録
5月中旬～	UNVによる選考 UNV 本部及び派遣機関の採用担当者による書類選考及び電話インタビューを行う(ポストによって選考方法が異なります)。
5月下旬	UNVによる採用結果通知 各候補者は合否結果を明治大学担当者に必ず報告すること。
6月中下旬	渡航準備開始
7月上旬・9月上旬	事前学習「海外実習課題研究」(100分×全2回) (対象:本学からの派遣決定者のみ)
8月中 (合計10日間:東京5日間、 関西学院大学5日間を予定)	派遣前国内研修(10日間) (対象:連携校からの派遣予定者全員) 国連概論、PCスキル(Web、画像、動画編集)、教育開発論、 国際紛争論、災害復興論等の講義
9月下旬	渡航
2025年2月下旬	帰国
2月下旬～3月上旬	事後学習(学内報告会)「海外実習課題研究」 (対象:本学からの派遣決定者のみ)
3月中旬(予定)	帰国報告会(UNV 連携校合同活動報告会)

問い合わせ:

明治大学国際教育センター(国連ユースボランティア・プログラム担当)
kokusaik@meiji.ac.jp

以上